

伊予銀行地域文化活動助成制度
第 66 回 助成団体紹介資料

2024年 11月

目 次

<中予地区>

1. 山西町お神楽保存会
2. 浮嶋神社秋祭り奉賛会

<東予地区>

3. 神宮獅子舞保存会
4. 桜井浜獅子保存会
5. 原八幡大神社獅子舞保存会
6. 宗方權伝馬実行委員会
7. 人形芝居ひめ
8. 新居浜市民吹奏楽団
9. にはま川柳会
10. 夢華神樂社中
11. 真鍋豊平一絃琴保存会

<南予地区>

12. 保内合唱団
13. 八幡浜合唱団
14. 穴井神楽保存会
15. 沖浦太鼓
16. みかめレクリエーション協会
17. 野村相撲甚句会

三津浜支店推薦	やまにしちよう かぐらほぞんかい 山西町お神楽保存会	設立	2003(H15)
	山西連合町内会長 しみず もとし 基 氏	会員数	20名

山西町お神楽保存会様は、松山市山西町の「朝日八幡神社」に奉納する浦安の舞を保存傳承されています。

浦安の舞は、1940年から全国の神社で奉納されるようになった巫女による四人舞で、山西町では2001年から氏神である「朝日八幡神社」の秋季大祭で奉納されるようになり、2003年に保存会が結成されました。現在は、小学生から高校生の舞手が、年間を通じて山西公民館で練習を積み、正しい舞いの繼承と研鑽に努めています。

秋季大祭の他、1月2日の地主神社の歳旦祭、5月5日の春季大祭でも奉納しており、依頼があれば婚礼の席で「豊栄の舞」も披露しています。

山西町には本会の他に、「山西仁喜多津会」や「山西町獅子舞保存会」等、秋祭りや獅子舞を繼承する団体が熱心に活動しており、地域をあげて歴史文化の保存繼承に努めています。



横河原支店推薦	うきしまじんじゃあきまつ ほうさんかい 浮嶋神社秋祭り奉賛会	設立	1963(S38).10
	会長 久保 眞徳 氏 (出席: 相原 宗正 氏)	会員数	70名

浮嶋神社秋祭り奉賛会様は、東温市の浮嶋神社に 200 年以上前から伝わる練り行事を保存伝承されています。

お練り行事は 10 月の第 2 日曜日に開催され、^{はたさしもの}旗指物や毛槍、笛太鼓、行司、力士、振り奴、舞姫等、約 40 種類もの出し物が出場しており、華麗な装束に身を包んだ約 170 名が、神輿を先導して、神社から堀池地区^{ほりけ}までの 1.4km をゆつくりと練り歩きます。

途中、3 ヶ所のお旅所で神事が執り行なわれる他、各辻では力士が「大和働き」と呼ばれる相撲の型の披露や、毛槍投げ、神輿振りが行われるのも見所の一つです。

近年は笛や太鼓奏者の減少に加え、子どもが担う役割が多いため人員確保に苦労していますが、大規模なお練り行列は全国的にも大変貴重であり、できる限り保存体制を整え、行事を継承していきます。



今治支店推薦	かんのみやししまいほぞんかい 神宮獅子舞保存会
	会長 <small>わたなべ</small> 渡部 <small>あつお</small> 敦雄 氏

設立	昭和初期
会員数	40名

神宮獅子舞保存会様は、今治市神宮地区に伝わる獅子舞を保存継承されています。

毎年、5月3日の野間神社例大祭で奉納していますが、近隣5地区の継獅子が参加しており、神宮地区はその名の通り「神社を有する地区」として、毎年締め奉納を担当します。

練り獅子と三継ぎの獅子に加えて、大名行列を模した「奴行列」があるのが特徴で、まず宮出しで奴が登場し、お箱、ことりげ小鳥毛、熊毛、槍など20人程の行列と獅子が境内を練り歩きます。その後、今治西中学校 郷土芸能部、大西地区や乃万地区などの継獅子が奉納され、最後に神宮獅子舞保存会がメの演舞を披露します。

最大の見せ場は、野間神社の階段中ほどで行う「三継ぎ」で、緊張感あふれる演舞の後には、観客への「もち投げ」も行われ、境内は大賑わいとなります。



桜井支店推薦	さくらはまし しほぞんかい 桜井浜獅子保存会
	会長 <small>よこい まさき</small> 横井 政樹 氏 (出席: <small>ながい ようすけ</small> 運営委員長 長井 洋助 氏)

設立	1979(S54).5
会員数	62名

桜井浜獅子保存会様は、今治市桜井地区に伝わる獅子舞を保存継承されています。

5月の、綱敷天満神社春祭りつなしきで奉納している他、8月の今治市民のまつり「おんまく」に参加。地元の高齢者福祉施設への慰問も行っています。

会員は、桜井地区の住民が中心ですが、近年は保存会設立当時の子どもが大人となって故郷に戻り、さらにその子供も加わる等、三世代にわたる活動が可能となりました。地元の保育園への声掛けや、桜井中学校での獅子舞指導も行い、近年は会員数が増加しています。

数ある演目の中でも、最大の見物は4体の獅子に約10名の子役が乗る「三番叟」で、獅子の勢いと華やかさに、子どもの愛らしさが相まって、本会では「今治一」と自負しています。

また、継獅子の子どもが獅子頭を被らないことも特徴で、今後も伝統を守りながら新しい試みも取り入れつつ継承していきます。



大島支店推薦	<small>はらはちまんだいじんじゃ ししまいほぞんかい</small> 原八幡大神社 獅子舞保存会	設 立	1975(S50).10
	<small>やの まさる</small> 会長 矢野 勝 氏 (出席:事務局 <small>やの たかあき</small> 矢野 敬陽 氏)	会員数	12名

原八幡大神社 獅子舞保存会様は、今治市吉海町にえ仁江の原の八幡大神社に奉納される獅子舞を保存継承されています。

原八幡大神社は、約千年前に大島庄おおしまのしょうの鎮守とされ、その後、伊予の守護 河野氏や村上水軍、徳川時代には今治藩主はじめ、大島、伯方、弓削島、魚島など29の村の総産土神うぶすながみとして崇敬を集めた由緒ある神社です。

2頭立ての獅子は、10月第2日曜と月曜の秋季大祭で舞を奉納する他、1頭ずつに分かれて各家を回ります。また、10数年前から、役場前の広場に吉海町内の神輿4台が集まり、かき比べを行っており、獅子舞も熱演を披露しています。

演目は「つるぎさんぼそう剣三番叟」「傘の舞」の2つ。舞手は小学校5年生から中学校3年生が務めており、島嶼部ゆえに少子高齢化が早く進みつつありますが、移住者やUターン者も巻き込んで継承に務めていきます。



宮浦支店推薦	むながたかいでんまじっこういんかい 宗方權伝馬実行委員会
	実行委員長 <small>いちかわ</small> 市川 <small>さだお</small> 貞男 氏

設立	2013(H25).4
会員数	56名

宗方權伝馬実行委員会様は、大三島に伝わる木造船「權伝馬」行事の伝統を保存継承されています。權伝馬による「十七夜祭」は、神功皇后じんぐうこうごうの朝鮮攻めの際、漕ぎ船で瀬戸内海を先導した神事を由来とします。過疎化により一時中断し、「三島水軍鶴姫まつり」のレースとして、操船技術や伝統を繋いできましたが、本来の形で復活させようと、2014年にイベントとして再開させました。

漕ぎ手や太鼓おもが、主權、華やかな衣装を纏った梵天、劍權など、総勢 15 名が、宗方八幡神社の神輿を 3 艘に渡して「お召し」と呼ばれる母船に運んだ後、勇壮な漕ぎ比べを披露します。

他の船を見ながら、抜く抜かさぬの応酬が繰り広げられ、速さよりも団結力や操船技術を競いあうところが宗方權伝馬の特色です。

参加者の確保が課題ですが、県外在住の地元出身者にも積極的に参加を呼び掛けて、人員確保に努めています。



富田支店推薦	にんぎょうしばい 人形芝居ひめ	設 立	1997 (H9) . 4
	代表 <small>いとお</small> 飯尾 <small>じゆんこ</small> 淳子 氏	会員数	10 名

人形芝居ひめ様は、今治市中央公民館で開催された「人形劇講座」の受講生により結成された人形劇サークルです。

人形はすべて手作りで、素材には手触りの良い今治のタオルを使用し、地元的话题をストーリーに盛り込み、子ども達とのかけあいや、人形とふれあえる時間を設けて、舞台と客席のコミュニケーションを重視したステージ作りを心がけています。

年度前半は、台本や人形作り、練習を行い、12月の第1日曜日、今治市中央公民館で人形劇公演を開催し、毎回、三百人以上が集まる人気を博しています。

40回記念となる今年の公演演目は、日本昔話の「わらしべ長者」等で、今治弁の主人公が、「わらしべ」を今治タオルやミカンなど地元の名産品に交換していく楽しい舞台を披露します。

年明けには保育所や介護施設への慰問も行う予定で、これからも人形劇を通じて地域に笑顔をお届けしていきます。



2024年 入場無料

～人形芝居ひめ PRESENTS～

第40回 親子人形劇のつとめ

日時：12月1日(日)14:00開演(13:30開場)
場所：今治市中央公民館4F大ホール

「わらしべ長者」



「かっぱときゅうり」



駐車場案内



主催：今治市中央公民館 今治市南室来町1-6-1
TEL (0898) 32-2892

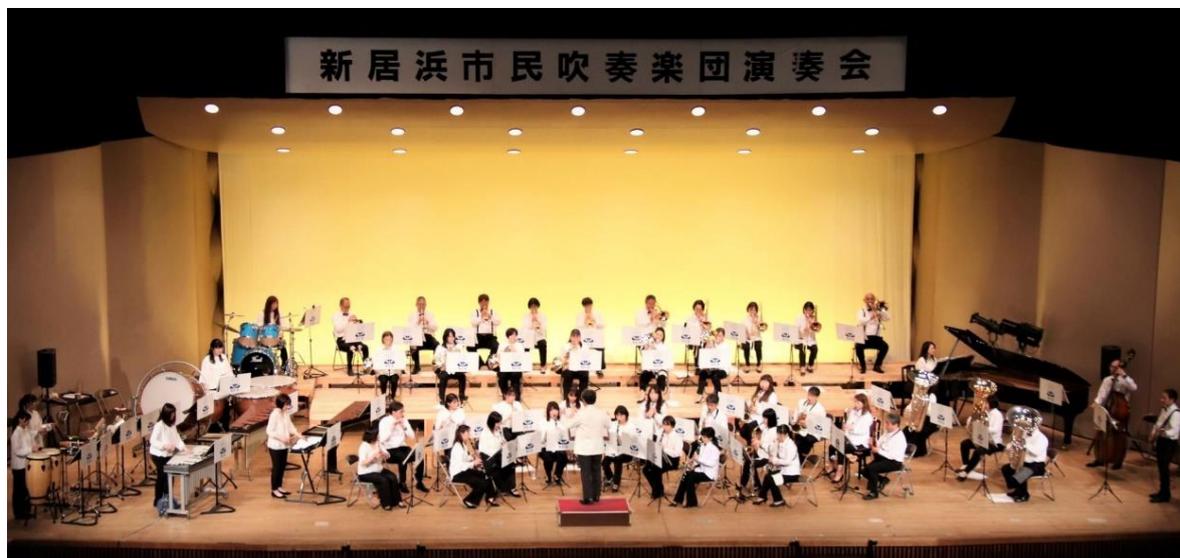
新居浜支店推薦	にいはましみなすいそうがくだん 新居浜市民吹奏楽団	設 立	1983(S58).3
	団長 おおにし まこと 大西 誠 氏	会員数	50名

新居浜市民吹奏楽団様は、学校の音楽教師や吹奏楽経験者らが中心となり、新居浜市初の吹奏楽団として結成されました。

定期的な活動は、「にいはま春の市民文化祭」への参加、秋の「定期演奏会」の開催で、「定期演奏会」は地元ですっかり定着し、毎回数百人が来場する人気です。

12月1日(日)には、新居浜市市民文化センターで、第40回となる記念演奏会を開催します。第1部はクラシックステージで、「歌劇アイダ」より「凱進行曲」、交響詩「ローマの松」より「アッピア街道の松」等の大曲に挑戦。第2部はマーチステージで「星条旗よ永遠なれ」等を演奏。第3部はポップスステージで、ディズニーメドレー等楽しい演目を予定しています。また、特別演奏曲として、前団長が作曲した「合唱と吹奏楽のための新居の大島民謡によるファンタジー」を、新居浜混声合唱団、新居浜市立東中学校との共演で披露します。

是非、ご来場ください。



新居浜支店推薦	<small>せんりゅうかい</small> にいほま川柳会	設 立	1990 (H2) . 11
	<small>たかはし まさあき</small> 会長 高橋 正明 氏	会員数	23 名

にいほま川柳会様は、1990年に「新居浜川柳研究会」として設立されました。

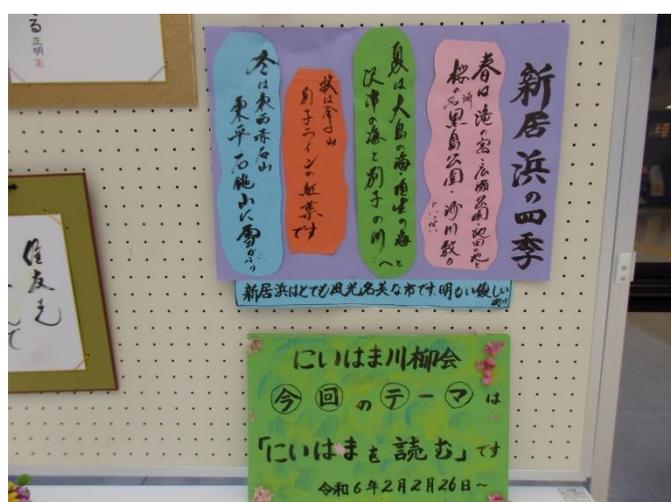
作句力や読解力を養うとともに、地元行事への参加や、他の文化団体と川柳を通じた交流を図り、地域文化の活性化に寄与することを目的に活動しています。

毎月1回、「高齢者生きがい創造学園」で句会を開催し、月刊誌「川柳にいほま」を発行。

あかがねミュージアムや新居浜市役所等、様々な公共施設で作品展示会も行い、日本各地の川柳大会に積極的に参加するなど、「行動する川柳集団」として活動を続けてきました。

お題には、その時々で社会的に問題となっている事柄も取り上げ、コロナ禍では医療従事者を励ます作品を発表するなど、社会派のテーマにも挑んでいます。

節目節目の年には記念誌を発行しており、今年2月には、誌齢400号を記念した合同句集「銅の道」を発刊し、公共施設等に広く配布しました。



小松支店推薦	ゆめはなぐら しゃちゅう 夢華神樂社中	設 立	2003(H15).6
	むらかみ あきこ 代表 村上 彰鴻 氏	会員数	6名

夢華神樂社中様は、2001年、県内の神楽愛好家らにより結成されました。

近隣に参考となる神楽が無かったため、島根県に何度も足を運び、石見神楽を見学。本場の指導を受けると共に、録画等を参考に練習を重ね、オリジナルの神楽を創作し、西条市の綾延神社や石鎚神社への奉納、地域行事への参加を続けてきました。

神楽は本来「男舞」ですが、2015年にメンバーが女性のみとなったことを機に、「女性の神楽団体」として再始動し、女性独自の細かな視点や感性を活かしながら、新たな神楽の創作と、郷土芸能である神楽の継承を目指しています。

「鈴神楽」^{いやさか}「弥栄の舞」「石鎚ことほぎの舞」など15程ある演目は、いずれもほぼオリジナル。本場の神楽は1演目1時間程度かかりますが、本会は起承転結のストーリー性を重視した流れで、6~7演目を30分程で披露し、多くの人々が気軽に神楽を鑑賞する機会を作っています。



土居支店推薦	まなべとよひらいちげんきんほぞんかい 真鍋豊平一絃琴保存会	設 立	1983(S58).4
	会長 <small>おち</small> 越智 <small>しげる</small> 滋 氏	会員数	24名

真鍋豊平一絃琴保存会様は、宇摩郡上野村、現在の四国中央市土居町生まれの真鍋豊平氏が、江戸時代に全国へ広めた楽器「一絃琴」を保存継承されています。

一絃琴は、木製の一枚板に一本の絃を張った和楽器で、その由来は諸説ありますが、江戸時代中期には高僧や貴族・武士層に人気で、盛んに演奏されていました。

昭和50年代、一絃琴 中興の祖である真鍋氏の墓参りに、京都から一絃琴団体^{せきがわ}が関川を訪問したことを機に、地元の偉人 真鍋氏を顕彰すると共に、一絃琴を継承しようとの気運が高まり、保存会が結成されました。以来、関川小学校には一絃琴クラブも活動するなど、地域をあげて一絃琴の普及・伝承に取り組んでいます。

2年毎に定期演奏会を開催している他、関川公民館祭や敬老会等の地域行事にも積極的に参加していますので、是非一度、一絃琴の雅な音色をお聞きください。



八幡浜支店推薦	ほないがっしょうだん 保内合唱団	設 立	1993 (H5). 10
	団長 福岡 久美子 氏	会員数	20 名

保内合唱団様は、八幡浜市立 宮内小学校のPTAコーラス「保内合唱愛好会」として、1987年に設立されました。現在は、40歳代から80歳代の女性20名が、毎週1回、宮岡幸子^{ゆきこ}氏の指導のもと、美しい発声や身体づくりを心掛けながら練習に励んでいます。

毎年、「レインボー合唱祭」「お母さんコーラス大会 四国支部愛媛大会」「保内芸能のつどい」に参加しており、2019年の「お母さんコーラス大会 四国支部愛媛大会」では最優秀賞に選ばれ、全国大会に出場しました。

2022年には「愛媛県民 総合文化祭 合唱公演」、2023年には「八幡浜美術館ミュージアムコンサート」等のイベントにも出演し、歌の力で地域を盛り上げています。

これからも歌を通して仲間と気持ちを一つにし、響き合うハーモニーを大切にしながら、合唱の楽しさと素晴らしさを広く伝えるため、活動を続けていきます。



八幡浜支店推薦	やわたはまがっしょうだん 八幡浜合唱団	設 立	1986(S61).7
	団長 <small>せいけ まゆみ</small> 清家 真由美 氏	会員数	12名

八幡浜合唱団様は、1986年、愛媛県民文化会館で開催された「一千人の第九」演奏会の参加者が中心となり結成された混声合唱団です。

設立以来、定期演奏会の開催や、八幡浜市の芸能文化祭への参加を続けている他、近年は八幡浜商店街でダンスや歌を披露する音楽イベント「八幡浜の中心で愛をうたう」に毎月出演し、地域を盛り上げています。

来年2月8日(土)には、八幡浜市民文化活動センターComicanで、「第32回 八幡浜合唱団演奏会」を開催します。テーマは「思い出す」。ゲストに愛媛出身の合唱指導者 もと近藤基氏を招き、第1ステージは声楽家 みやもとますみつ宮本益光氏作曲の新曲「人よ、うたを思い出せ」を。第2ステージは「なごり雪」等、花や春の曲を。第3ステージは、公募メンバーを加えた「公募合唱団」のステージとし、寺山修司の詩による6つのうた「思い出すために」を披露します。ぜひ、ご来場ください。

第32回 八幡浜合唱団演奏会 公募ステージメンバー募集

第32回八幡浜合唱団演奏会の第3ステージで一緒に歌ってくれるメンバーを募集します。

寺山修司の詩による6つのうた

演奏曲：「**思い出すために**」

作詩 寺山 修司
作曲 信長 貴富

指揮：もと近藤 基
ピアノ：こゑ隅田 小織

- ・普段は同声合唱をされていて、混声合唱をやってみたい方
- ・信長作品が好きな方
- ・合唱仲間を増やしたい方



日程 2025年 **2月8日(土)**

時間 開場 **17:30** 開演 **18:00**

会場 八幡浜市民文化活動センター-comican 忠八ホール

〒796-0066 八幡浜市62-1 (本町1)

八幡浜合唱団 | TEL 0894-24-0604 (清家食堂)
E-Mail : 8gassyodan@gmail.com
<https://yawatahama-gassyodan.jimdofree.com/>



八幡浜支店推薦	あないかぐらほぞんかい 穴井神楽保存会	設立	1973(S48).10
	たまき かつひろ 会長 玉木 勝広 氏(出席:会員 やくしじん よしあき 薬師神 良昭 氏)	会員数	18名

穴井神楽保存会様は、八幡浜市穴井地区に伝わる神楽を保存継承されています。

穴井神楽は、八幡浜地区の神楽の起源とされ、少なくとも 200～300 年の伝統があると伝えられており、穴井天満神社の宮司により、明治から大正にかけて近隣住民に伝授され、1973 年に保存会が結成されました。

高齢化等により 2018 年に一旦解散しましたが、翌年、地域で神輿を新調したことを機に、神楽も継承しようとの機運が高まり、若手有志が引き継ぎ、かつてのメンバーに舞を習い練習を開始。コロナ禍を経て 2022 年に祭りが本格再開し、新メンバーによる神楽が地域住民にお披露目されました。

ほとんどが初心者ですが、現在 15 演目のうち、「神酒」「手草」「巴那乃舞」「大舞」「岩戸開き」「大蛇退治」等、9 演目が舞えるようになり、徐々に演目を増やすことを目標としています。



長浜支店推薦	おきうらたいこ 沖浦太鼓	設 立	2014(H26).4
	代表 <small>みなと</small> 湊 <small>はやと</small> 隼人 氏	会員数	11名

沖浦太鼓様は、市町村合併の影響で解散した長浜地区の「嵐太鼓保存会」から、残された太鼓を地域住民が引継いで設立されました。

当初は、高齢者の太鼓リズム教室としての活動でしたが、若い世代を巻き込んで、盆行事など長浜の伝統を継承しようと、2017年に子ども中心の活動に移行し、現在は、小・中学生が基本の和太鼓曲「五神太鼓」ごしんだいこの練習と、地域の盆踊りの「口説き」や太鼓リズムの習得に取り組んでいます。

沖浦の盆踊りは、1年以内に亡くなった方の位牌代わりに、「灯籠」を会場に据えて供養するもので、くどき手が当地独特のリズムにのせて「神様くどき」を唄い、太鼓はその伴奏を行います。コロナ禍で一時練習もままなりませんでしたが、昨年の盆踊り大会でやっと初披露することができ、さらに今年は「五神太鼓」も演奏して、地域住民から大変喜ばれました。



三瓶支店推薦	みかめレクリエーション ^{きょうかい} 協会	設 立	2002(H14).10
	会長 ^{なかむら} 中村 ^{かずまさ} 一雅 氏 (出席:事務局長 朝井 邦子 氏)	会員数	34名

みかめレクリエーション協会様は、様々な地域イベントの企画開催を通じて、地域を盛り上げようと活動されています。

活動のひとつとして、2003年によさこいチーム「響」を結成。れんげまつり、奥地の海のかーにばる、三瓶町文化祭など、年間を通じて南予を中心とした多数のイベントに参加し、今では地域行事に欠かせない存在となりました。

介護施設や病院への慰問も行い、色鮮やかな衣装を纏った子ども達の演舞は、行く先々で大好評を博しています。

会員は10歳代の子どもが中心で、成長や進学に伴いメンバーが入れ代わりますが、近年は大人になってUターンしたり、親となって子どもと一緒に参加するなど、新たなサイクルが生まれてきました。毎年、三瓶小学校児童への指導も行い、3・4年生が運動会でソーラン節を披露しており、入会のきっかけにも繋がっています。



野村支店推薦	のむらすもうじんくかい 野村相撲甚句会
	ももやま しんじ 会長 桃山 真二 氏

設立	1988(S63).11
会員数	11名

野村相撲甚句会様は、西予市野村町で「相撲甚句」の伝統を保存継承されています。

甚句は全国各地で様々な形で受け継がれていますが、相撲甚句は、地方巡業先で力士がお座敷遊びの唄を覚えて持ち帰り、相撲の取り組みや決まり手を紹介する目的で歌ったことが始まりと言われていています。

1988年の設立後、伝統行事「乙亥相撲」や薬師相撲、社日相撲や軽トラ市など、様々な地域イベントで、行事の盛り上げと甚句の普及活動をしています。

甚句は「乙亥相撲甚句」や「まったりふるさと伊予野村」等、地域の名所や行事を歌詞に織り込んだものが中心で、古くから歌い継がれた歌詞に加え、あらたに書き起こしたオリジナルの作品も多く、掛け声によって伸びやかに歌われる甚句は地域で広く親しまれています。

今年4月には「相撲甚句名選集」を編纂・出版し、自主制作したCDと共に道の駅で販売しています。



乙亥大相撲発展祈願

野村 晩秋 乙亥の祭り ヨー

由来を歴史に紐解けば大火なり
嘉永のちえに五十年祈願して
後承の社を建平安祈願す相撲
愛宕三神の願(が立ん)相撲
三十三の願(が立ん)相撲
火伏せに奉納乙亥の日
百年守りたる名物
今も東の抗戦は
花紙と東杯の力対飯戦は

プロアマの経緯一騎打ち
七タと豪雨を統てさえも
今も受け継ぐ大祭統は
野村にも孫に大祭統は
子にも孫に大祭統は

ハ乙亥相撲は日本一ヨー
ア相撲は日本一ヨー
野村は平和が長くゆる
職人の祈願が知られる伝統は
百有年の祈願が知られる伝統は
乙亥の三十三の結び入り乱れ

愛宕神社に奉納す力士を取り立てて
最入(ひ)に奉納す力士を取り立てて
酒が入れば花(き)も飛び立てて
熱戦の終われば花(き)も飛び立てて
差合も負ければ花(き)も飛び立てて

